

## 加西市の地域公共交通の崩壊を食い止めるための緊急アピール

加西市公共交通活性化協議会は、交通弱者の移動を公共交通で確保して市内外の移動の自由度を高め、活発な交流に基づく中心市街地の活性化を目的として、平成 20 年 3 月に設置されました。平成 30 年 3 月には公共交通のマスタープランとして「加西市地域公共交通網形成計画」を策定し、「みんなでつくる地域に根付いた人と人をつなぐ公共交通～誰もが外出しやすいまちをめざして～」を基本理念として、この地域で住み続けられるよう高校生、高齢者等の通学、通院の足の確保はもとより、広く住民や来訪者に公共交通を使っただけのよう様々な取組みを実施してまいりました。

こうした中、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛や学校の休校、観光客の減少が続き、加西市においても公共交通利用者が大幅に減少しています。昨年 4 月同月比で見れば、路線バスで約 52%、北条鉄道では約 58%もの利用者の減少がみられました。このままでは、地域の公共交通を支えていただいている交通事業者の事業継続も危ぶまれる状況であり、そうなれば住民の生活にも大きな影響が生じます。

各公共交通機関では、3密を防ぐために換気、消毒等様々な取組みを行っていただいています。協議会としても、こうした各公共交通機関の感染防止策の取組みを住民の皆さんに知っていただく等、公共交通を守り利用促進に向けた必要な取組みを実施してまいります。

地域の皆さんには、日常生活における重要なインフラでもある公共交通の大切さをご理解いただき、感染防止に留意したうえで、鉄道、バス、タクシー等の公共交通を積極的に利用していただくようお願いします。

また、国及び兵庫県におかれましては、こうした地域の窮状をご理解いただき、持続可能な公共交通の維持確保のために必要な支援を速やかに実施していただきたく、緊急アピールを宣言いたします。

令和 2 年 6 月 29 日

加西市公共交通活性化協議会

会長 河 尻 悟

